

平成 28 年度事業報告

1、新事務所で業務を実施

当協会は、平成 6 年 2 月に環境保護の市民団体として高知市で設立（平成 9 年 4 月に社団法人認可）、平成 17 年 7 月に「生態系トラスト協会」に名称変更。平成 25 年 4 月 1 日付で公益社団法人に認可された。この間、高知市廿代町、土佐市宇佐、高知市長浜などに主たる事務所を置いてきた。

平成 26 年 7 月に四万十ヤイロチョウの森ネイチャーセンターがオープン、平成 28 年 4 月 1 日より同地に主たる事務所を移転して、事務所機能とネイチャーセンター機能を統一して運営にあたった。

2、自主事業

1) ヤイロチョウ保護協定の締結について

当協会が四万十町下道地区に所有するヤイロチョウ保護区の森に隣接して、王子HD株式会社の 260ha. の社有林がある。当協会が数年にわたって調査した結果、この森にヤイロチョウが生息していることを確認したことから、交渉の結果、平成 28 年 8 月に同社と「ヤイロチョウ保護協定」を締結した。

協定締結を記念して、数百部のポストカードを作成した。

2) トラスト地の取得について

当協会は、平成 12 年 8 月に吉野川源流生態系保護区を取得したのをきっかけに、四国の森林を中心に貴重な動植物が生息する生態系保護区を取得。平成 14 年からナショナル・トラスト手法による一口オーナー募金を開始。平成 14 年 7 月に四万十町に四万十ヤイロチョウの森トラスト 1 号地を取得。平成 29 年 3 月に 6ha. の森を取得（登記は 4 月 2 日）。四万十ヤイロチョウの森は約 196 ヘクタール（トラスト地全体で 286ha.）に拡大した。

3) 生きものふれあい鶴田公園について

平成 20 年 5 月、めだかトラスト活動をきっかけに、高知市長浜に土地の寄贈をいただき、平成 21 年 2 月 7 日に「いきものふれあい鶴田公園」をオープンし、自然観察会や地域の伝統行事を行ってきた。少子高齢化に伴い近年は活動が停滞してきたため、理事により活性化策について検討した。

4) 自然林再生事業について

人と野生生物が共生する自然林再生に向けて、山崎技研株式会社より平成 27 年度に 1000 万円の寄付金を受けて高知林業株式会社に委託し、下道地区の所有地の尾根筋まで達する 2 キロメートルの研究用道路が平成 28 年 4 月に開通した。引き続き平成 28 年度は 500 万円の寄付をいただき、同地にシカ生体捕獲の実験をするため、鉄工所に発注して檻の出入口を設置した。また、シカの誘引餌となる牧草などを設置、無人カメラによるシカなどの生息調査を行った他、2 月には北海道前田一步園財団に役員などが視察に出かけた。

5) 会報誌「森のしずく」の発行について

A 4 版 8 ページによる季刊の会報誌「森のしずく」118 号～121 号を発行し、正会員、サポート会員、友の会会員、会友（一口オーナー、募金者）など、1500 人に送った。

6) 講師の派遣など

高知県立高知北高校からの要請を受けてヤイロチョウ保護活動について紹介する講師を派遣した。この他、高知県環境カウンセラーの例会でヤイロチョウの森の保護活動について講演した。

7) 四万十ヤイロチョウの森ネイチャーセンターの運営について

常勤職員1名と、四万十町からの委託事業による期間限定職員、アルバイト等により日常業務を行い、こども夢基金などの助成金を得て親子自然体験キャンプなどの各種事業を行った。

8) 三つ折案内パンフレットの作成

王子HDよりの要請で、12月に東京で開催されたエコプロ2016の参加にあわせて、三つ折パンフレットを2000部作成し、会場やネイチャーセンターなどで来訪者や会員などに配布した。

3、助成事業

昨年に続いて、文部省所管の「こども夢基金」の助成金を得て、四国4県にある1650の園・小中学校にポスターや募集チラシを送付、7月末に2泊3日の「夏休み親子自然体験キャンプ」を、8月中旬に同1泊2日の同キャンプを実施した。地元の川漁師を講師にした天然ウナギの捕獲イベントに人気が集まった。そのとき捕獲した天然ウナギの1匹はネイチャーセンターの水槽に展示した。

また、平成26年度高知県豊かな環境創出事業により森の番小屋に設置したナショナル「みえますネット」によるライブ映像については、落雷によるカメラ機器の故障により廃止したが、10月末に1台のカメラをネイチャーセンターの小鳥の餌台に設置・運用を開始した。

4、委託・補助事業

前年に続いて高知県鳥獣対策課より「野鳥とのふれあい事業」を受託し、愛鳥週間ポスター展、同入選作品審査、8月と1月に高知市緑の広場で親子愛鳥教室を開催した。

また、新たに四万十町から「28年度四万十ヤイロチョウの森保全活用事業」の委託を受けて、6月にヤイロチョウのさえずりを楽しむ親子バスツアーを開催した他、夏休み親子自然体験キャンプ、秋のキノコ観察会、大阪バードフェスティバルに参加した他、東京ビックサイトで開催されたエコプロ2016にも参加した。その他、2月には船上バードウォッチングモデル事業に講師を派遣した他、3月に学生バードクラブ学習会を開催した。その他、四万十町が下津井に設置した野鳥写真パネル展示に協力した。

5、他団体の活動支援事業

- 1) 福島県の子供たちを8月のネイチャーセンター行事（親子自然体験キャンプ）で受入れた。
- 2) 四国ツル・コウノトリ保護ネットワークの事務局として、西日本で越冬するツル類の生息地保全に関する調査や情報提供を行った他、4月に愛媛県西予市で開催された環境省主催の四国ツル情報交換会に講師として出席した。
- 3) 中西悟堂協会の事務局として、11月に福生市で開催された生誕120周年記念イベント、3月には、前年5月にプレート開設版を設置した岡谷市などに出かけた。
- 4) 日本めだかトラスト協会の事務局として、9月に高知県日高村と高知市で「日本めだかトラスト研究大会」を行い、岩松鷹司会長による出前授業を行った。
- 5) 一般財団法人日本グラウンドワーク協会の理事を引き受けて、3月に東京で開催された理事会に出席した。